

## 第1学年 道徳科学習指導案

児童 31名（さくら学級2名）

指導者 山井 香葉子

### 1 主題名 友達っていいな B [友情・信頼]

教材名 ころはっぱ（東京書籍「道徳1年 新しいどうとく」P.50-51）

### 2 主題について

#### (1) 価値について

本単元における内容項目B「主として人との関わりに関すること」の「友情、信頼」は、「友達と仲よくし、助け合うこと。」をねらいとしている。

この内容項目は、第3学年及び第4学年では、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」に発展していく。

友達は遊びなどを通して深く関わり合い、楽しい時間を共に過ごしたり喜びや悲しみを共有したりできる存在である。時には、心の支えや困難に立ち向かう時の原動力となることもある。しかし、社会生活の中には、様々な考えや立場の人間がいる。良好な友達関係を築くためには、進んで人と関わり、相手を理解しようとするのが大切である。幼少期から様々な人と関わり合い、共に遊んだり学習したりする楽しさや喜びを感じることで協力や助け合いの心が生まれ、よりよい生き方へとつながるものと考えられる。

この時期の児童は、学校生活にも慣れ、学習や遊びを通して子ども同士の関わり合いが増えてくる。学級集団の中で生活することを通して、グループ学習や集団遊びもできるようになってきている。友達の輪が広がり、子ども同士での活動が増えてきたこの時期に、いろいろな立場や考えの友達と進んで関わろうとする心情を育てたい。

#### (2) 児童について

本学級の児童は、複数の保育園や幼稚園から集まって来ている。入学当初は、同じ保育園や幼稚園の友達同士で関わる児童が多かったが、徐々に新しくできた友達と教え合って学習をしたり休み時間には一緒に遊んだりするようになってきた。しかし、いろいろな友達と関わることに消極的で、一緒に遊ぶ友達が固定化していたり声をかけてもらわないと一緒に活動できなかつたりする児童がいる。また、お互いの欠点を指摘し合い、利己的な態度をとってしまう児童もいる。

そこで、本指導を通して、相手の気持ちに寄り添いながら進んでいろいろな友達と関わることの大切さやよさについて考えさせたい。

#### (3) 指導にあたって

「気づく」段階では、一人でいる友達を見つけたらどうするかについて問いかけ、友達と仲良くするにはどうしたらよいかという課題につなげる。

「深める・つかむ」段階では、いのししくんのお気持ちを中心に話し合い、自分の経験と重ね合わせながら考え、共感させるようにする。また、役割演技を取り入れ、いのししくんと他の三匹の両方の気持ちを多面的・多角的に捉えられるようにする。

さらに、いのししくんのお気持ちの変化によって、ころはっぱの木が何色に変わるかについて交流する場を設けたい。

「みつめる」段階では、いのししくんのように友達がいてよかったと思った経験について聞き、友達がいてよかったという思いを深めさせる。

「まとめる」段階では、教師の説話を聞き、友達がいることの良さを考えられるようにする。  
 特別支援学級在籍児童2名については、みんなと一緒に学習に参加しようとする意欲を認めながら指名をしていく。また、特別支援学級担任は、児童が課題からそれないように、個別に支援するようにしていく。

3 本時の指導

(1) ねらい 友達と進んで関わり、仲良くしようとする心情を育てる。

(2) 研究仮説の具現化に向けた手立て

①自我関与のさせ方の工夫

場面	ねらい	手立て
いのししくんが、木の下で「ああ、ともだち、ほしいなあ。どうしたら…、ぼく…、ともだち、できるのかなあ…。」と言う場面	・周りに友達がいらないことへの不安や、これから友達ができるか心配しているいのししくんの気持ちに共感させる。	挿絵

②多面的多角的に考えさせる場のあり方

場	ねらい	手立て
声をかけた3匹と、声をかけられたいいのししくんのそれぞれの気持ちを考える場。	相手を思いやり、勇気を出して声をかけた3匹と、声をかけられてうれしいいのししくんのそれぞれの立場で考える。	役割演技 ワークシート

③自分を振り返えられる工夫

発問	ねらい	手立て
いのししくんのように友達がいってよかったなと思ったことはありますか。	本時の課題について、自分の生活との関わりで考えられるようにし、友達がいることのよさに気付かせる。	板書

(3) 展開

		学習内容と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (留意点・評価★)
導入	気づく 5分	1 友達との関わりについて話し合う ○友達のどんなところがいいと思いますか。 ○もし、誰かが一人でぼつんとしていたらどうしますか。 ともだちとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒にあそんでくれるところ</li> <li>こまったときにたすけてくれるところ</li> <li>こえをかける</li> </ul>	②二人の児童それぞれに支援者がそばに付き添い支援する。
展開前段	深める つかむ 25分	2 「こころはっば」を読み、資料の状況を捉える。 ○いのししくんが、「ともだち、ほしいなあ。」と言ったとき、こころはっばはどんな色になったでしょう。 どうしてその色になったのですか。 ○元気がないいのししくんをみて、3匹はどんなことを思ったでしょう。 3匹は他になんと声をかけたでしょう。 また、3匹に声をかけられていのししくんはどう思ったでしょう。 ○いのししくんが、どっすんどっすんとはねた時、こころはっばはどんな色になったでしょう。 ○こころはっばを追いかけながら、みんなはどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>さみしいから</li> <li>ともだちできるか心配だから</li> <li>かわいそう</li> <li>ともだちになってあげよう</li> <li>いっしょにあそぼう</li> <li>うれしい</li> <li>ありがとう</li> <li>たのしいな</li> <li>ともだちになれてよかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵を見せながら、範読する。</li> <li>②板書に注目させ、よく見てよく聞くよう促す。</li> <li>いのししくんのどんな気持ちを表現したかったのかを児童に問う。</li> <li>3匹といのししくんのやりとりを役割演技によって表現し、考えを深める。 きつね たぬき うさぎ いのしし</li> <li>無色のこころはっばに色をつける。</li> <li>★友達になった4匹の明るい気持ちから、友達の良さについて考えている。(発言・発表)</li> </ul>

展開後段	見 つ め る 7 分	3 いのししくんのように友達がい てよかったなと思ったことはあり ますか。	・あそんでくれたとき ・たすけてくれたとき	・友達と進んで関わっ て仲良くすることの 良さを考えられるよ うにする。
終 末	ま と め る 3 分	4 教師の説話		㊦最後まで話しを聞くよう 励ます。

#### 4 板書計画

第 回 道徳 ころろはっぱ



- ・あそぼう
- ・だいじょうぶだよ



ともだちになって

- ・かわいそう
- ・ともだちになってあげよう

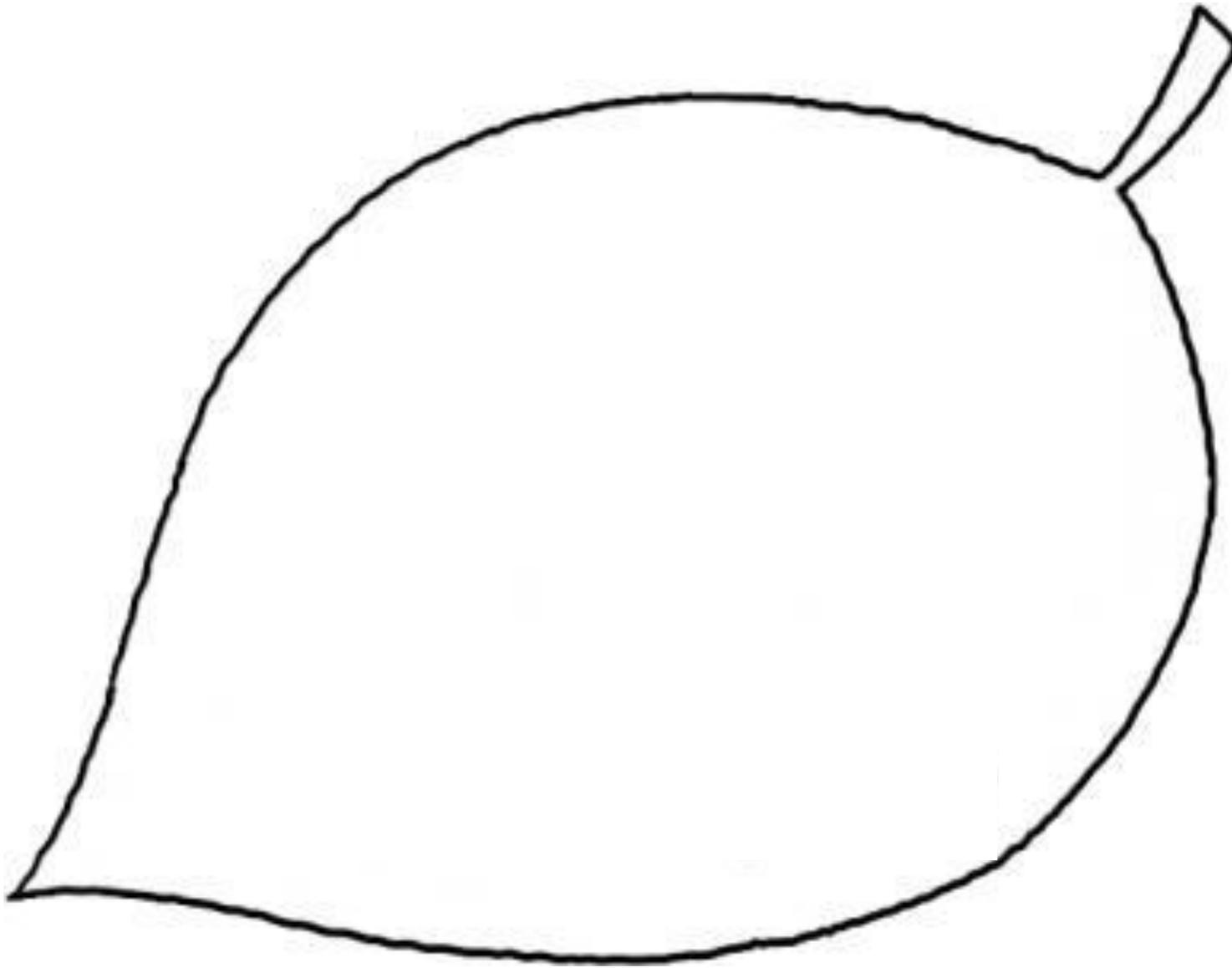


- たのしい…あかるいいろ
- かなしい…さみしいいろ

どつすんどつすん

- ・うれしい
- ・ありがたい

- ・たのしいな
- ・ともだちになれて  
よかった



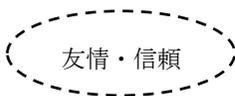
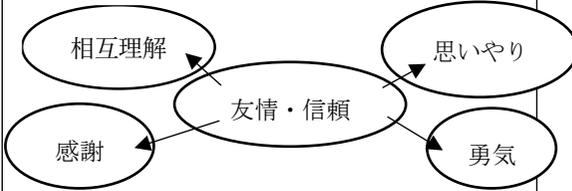
17

なまえ

ともだちのこ

〈教材分析図〉

- 1 教材名 ころはっば (東京書籍)
- 2 ねらい 友達と進んで関わり、仲良くしようとする心情を育てる。

主な場面	引っ越して来たばかりで、友達のいないいのししくんが、木の下で「ああ、ともだち、ほしいなあ。どうしたら…、ぼく…、ともだち、できるのかなあ…」と言う。	元気がないいのししくんを見た3匹が、「ともだちになって。」と言って、いのししくんに声をかける。	風に乗って飛んでいくころはっばを、4匹が笑顔で追いかける。
心の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さみしい</li> <li>・どうしたら友達できるかな</li> <li>・友達ほしいな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいそう</li> <li>・友達になってあげよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たのしいな</li> <li>・ともだちっていいな</li> <li>・ともだちがいてよかった</li> </ul>
価値の関連			
気付かせたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引っ越して来たばかりで、周りに友達がいないことへの不安な気持ち。</li> <li>・これから友達ができるか心配している気持ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのししくんを元気づけるために、声をかけようか迷う気持ち。</li> <li>・いのししくんと友達になりたいという気持ち。</li> <li>・声をかけられてうれしい気持ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達になれてうれしい気持ち。</li> <li>・勇気を出してよかったという気持ち。</li> <li>・友達になってくれてありがとうという気持ち。</li> </ul>
主な発問	○いのししくんが、「ともだち、ほしいなあ。」と言ったとき、ころはっばはどんな色になったでしょう。	○元気がないいのししくんをみて、3匹はどんなことを思ったでしょう。	○ころはっばを追いかけている間、みんなはどんな気持ちだったでしょう。